



## 自由研究発表から

部長 勝木 茂

秋分も過ぎ、朝夕はしだいに涼しさを感じるころとなりました。二学期がスタートして1か月、様々な制限がある中ではありますが、初等部生は工夫をしながら落ちついた学校生活を送っているようです。

神奈川県内をはじめとする新型コロナウイルス感染状況は多少改善傾向にはありますが、まだまだ油断は出来ません。保護者の皆様におかれましては、これまで同様、登校前のご家庭での検温をはじめとするお子様の健康観察を十分に行っていただきますようお願いいたします。



9月の中旬、多くの学級では、「総合的な学習の時間」などを活用して、「夏休みの自由研究発表会」が行われていました。初等部ではこの自由研究とその後の発表会が毎年伝統的に行われています。

わたしはこれまで多くの学校で、いわゆる夏休みの自由研究・作品などを見てきましたが、初等部生のそれは、質の高いものが多いと感じます。

想像するに、保護者の皆様のお子様への適切なサポートがあったからだと思います。わたしも自分の子どもが小学生の頃（特に低学年）子どもが読書感想文で悩んでいる時、同じ本を読んで、子どもが感じていることを一緒に整理したり、書き出しの文章を一緒に考えたりしたことがあります。また、コリントゲームがどうしたら楽しくなるのか一緒にアイデアを出し合って、それらの中から子ども

のやりたいことを子どもに選択させたこともありました。どこまでサポートし、どこからは子どもに任せ、自主性や主体性を失わないようにしていくのかは、子どもの状況による親の判断でよいと思います。

文部科学省から出ていますリーフレット「生きる力 学びの、その先に」の中に次のような記載があります。（以下、引用）

保護者の皆さまへ

子供たちの「生きる力」を育むには、学校での学びを日常生活で活用したり、ご家庭での経験を学校生活に生かしたりすることが、とても大切です。お子さんが学校で学んだことについて、ご家庭で、ぜひ話してみてください。保護者の皆さまの働きかけが、子供たちの「生きる力」を育む大きな原動力になります。

また、同じ頁にDATAとして、（以下、引用）保護者の働きかけがある子供の学力は高いという傾向があります。

例えば・・・

- 学校や友達のこと、地域や社会の出来事など家庭での会話が多い。
- テレビ ビデオ DVDを見る時間などのルールを決めている。
- テレビゲーム（携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム等を含む）をする時間を限定している。
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている
- 子供に最後までやり抜くことの大切さを伝えている。
- 自分の考えをしっかりと伝えられるようになることを重視している。
- 地域や社会に貢献するなど、人の役に立つ人間になることを重視している。

（平成29年度全国学力・学習状況調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究より）  
ずっと言われ続けていることではありますが、家庭と学校が子どもの教育の両輪であることを改めて感じます。